

令和5年度
「鹿児島県地域両立支援推進チーム」
会議概要

1 開催日時及び開催場所

- (1) 日時：令和5年11月29日(水)14:00～15:30
- (2) 場所：鹿児島地方合同庁舎3階第2会議室

2 参集団体(順不同)

- ・独立行政法人労働者健康安全機構鹿児島産業保健総合支援センター
- ・国立大学法人鹿児島大学鹿児島大学病院
- ・国立大学法人鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
- ・独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
- ・公益財団法人鹿児島県民総合保健センター
- ・鹿児島県社会保険労務士会
- ・一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会鹿児島支部
- ・日本医療社会福祉協会鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会
- ・一般社団法人日本産業カウンセラー協会九州支部
- ・特定非営利活動法人日本キャリア開発協会
- ・公益社団法人鹿児島県医師会
- ・公益社団法人鹿児島県薬剤師会
- ・公益社団法人鹿児島県看護協会
- ・鹿児島県経営者協会
- ・日本労働組合総連合会鹿児島県連合会
- ・公益社団法人鹿児島県労働基準協会
- ・鹿児島県保健福祉部高齢者生き生き推進課
(鹿児島県若年性認知症支援コーディネーター)
- ・鹿児島県保健福祉部健康増進課
- ・鹿児島労働局(職業安定部職業対策課、同職業安定課、雇用環境・均等室)
- ・事務局(鹿児島労働局労働基準部健康安全課)

3 主な次第

- (1) 労働局説明
- (2) 相談窓口の設置状況
- (3) 治療と仕事の両立支援に関する取組状況
- (3) その他

4 会議概要

座長として独立行政法人労働者健康安全機構鹿児島産業保健総合支援センター所長を選任し、以下の議事を進行した。

(1) 労働局説明

- ① 鹿児島県地域両立支援推進チームの取組に関する5か年計画の推進状況について説明を行った。
- ② 令和3年労働安全衛生調査(実態調査)及び令和4年労働安全衛生調査(実態調査)に基づき、疾病を抱えた労働者が治療と仕事を両立できるような取組の有無及び取組内容等について説明を行った。
- ③ 長期療養者就職支援事業の概要と実施状況について説明を行った。

(2) 相談窓口の設置状況

独立行政法人労働者健康安全機構鹿児島産業保健総合支援センターより、相談窓口の設置状況と増設予定について説明が行われた。また、相談件数、相談内容の報告があり、事例紹介が行われた。加えて、鹿児島県地域両立支援推進チームで作成してるリーフレットの修正について提案があった。

(3) 各構成員の取組状況等

- ① 過去1年間の主な取組内容
 - ・ 両立支援出張相談窓口の開設
 - ・ 市民公開講座の開設
 - ・ オンラインを活用した研修会の開催
 - ・ 年休の取得しやすい環境の整備
 - ・ 研修会を通じた啓発
 - ・ ポスター掲示やリーフレットの配付
 - ・ 機関紙への相談窓口等の掲載
- ② 両立支援を行うにあたって困難であった事例
 - ・ 休暇取得が難しい(事業場の理解が得られない)
 - ・ 医療機関における各部署への周知理解
 - ・ 就労支援の必要性は、本人からの申し出がなければ判断つかない
 - ・ 事業場の両立支援に対する認識が低調
 - ・ 疾患を理解してもらうことが難しい
- ③ 両立支援を行うにあたっての好事例
 - ・ 両立支援促進員の増員
 - ・ 上司の理解と協力
 - ・ 各両立支援コーディネータ間の連携
 - ・ 両立支援ハンドブックの活用

- ・医療機関や学会での両立支援に対する取組みを発表

(3)その他

- ① 事業場からの申し込みが少ない
- ② 周知の工夫の必要性
- ③ 治療と仕事の両立支援セミナーの開催